

令和6年産水稻種子の注意点！

今年播種する令和6年産水稻種子は、登熟期（出穂期から成熟期）の高温のため、「例年より休眠がやや深い傾向にある」との報告があり、茨城県産種子と富山県産種子において、各県より注意喚起の情報が出されました。今年は例年以上に休眠打破に注意して、発芽・苗立不良にならないように気をつけましょう。

1 浸種における注意点

- ・浸種が不十分な場合、休眠打破が完全でなく、その後の催芽、出芽での芽のそろいが悪くなることから、浸種日数を通常より1日以上長くして十分に行う（下の表参照。「夢あおば」は通常の管理とする）。
- ・こまめに種子の状態を確認する。
- ・高水温または低水温での浸種は出芽がばらつく原因となる恐れがあるので、浸種温度は10～15℃とする。

2 催芽における注意点

- ・浸種を延長した上でも、例年よりもハト胸状態となるまでに時間がかかる可能性がある。
- ・こまめに種子の状態を確認し（下の写真参照）、ハト胸状態になるまで催芽を継続する。
- ・催芽が不十分だと、出芽に時間がかかることになり、保温中の病害（もみ枯細菌病など）の危険が高まる。
- ・催芽温度は28～30℃とする。30℃以上の高温となるともみ枯細菌病などの発生を助長するので十分注意する。

3 播種・出芽における注意点

- ・催芽を終えた段階で、種子の芽の状態が例年よりばらつく可能性がある。
- ・芽や根が伸びてしまったものは、播種時の作業性が悪いものの、芽や根が受けた損傷については、その後回復する。

【ハト胸】



催芽が足りない

ハト胸の許容範囲

ハト胸（播種最適）

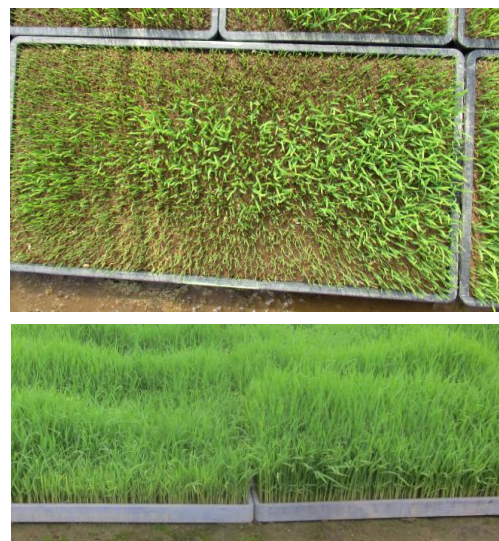
ハト胸の許容範囲

表 通常の浸種の目安

品種	通常の浸種方法	
	浸種積算温度	浸種日数 (水温10℃の場合)
コシヒカリ	120℃	12日間以上
ふくまるSL		
一番星		
にじのきらめき	120～135℃	13日間以上
ゆめひたち	110℃	11日間以上
その他主食用品種 及び月の光	100℃	10日間以上

注)「夢あおば」は浸種積算温度 60～80℃。

出芽不良の例



- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は J A 全農いばらき ホームページでもご覧になれます。